

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス チルドレア		
○保護者評価実施期間	R8年2月2日		～ R8年2月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	R8年2月2日		～ R8年2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	◆活動スペースの広さ 清潔で心地よく過ごせるよう環境が整備され、子どもの活動等のスペースが十分確保されています。静かに集中して取り組む活動、のびのびと体を動かして楽しむ活動と、空間分けできています。	・日々の活動で使用している療育室からすぐに個室(静養室)に移動できるよう環境整備を行っている。宿題などの個別対応時は別室を使用している。体を動かす場所、ゆっくりと体を休める場所など、部屋の役割がわかりやすくなっています。	・職員配置や利用人数、生活レベルに応じて1階と2階に分けて支援を行っていく。また、静と動の動き等、活動内容によっても細かく使い分けています。使用したい部屋の希望がある場合は、子どもたちからの発信や気持ちを伝えてもらうよう支援します。
2	◆プログラム内容の充実について 児童の特性に合わせた活動や、家庭ではできない体験ができます。	・各曜日によって異なる活動プログラムを実施している。集団や異年齢の子との活動などを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に積極的に取り組んでいます。 個々の特性や成長に合わせた活動を行っています。	・研修や勉強会など様々な場へ出向いたり、各々の職員が勉強することでお子様や保護者様のニーズに沿ったプログラムを実施出来るようにしていきます。
3	◆職場の雰囲気 風通しが良い職場の雰囲気作り	・毎月の会議や日々の会話の中で、職員の悩みや困り事の確認を行い、働きやすさを追及しています。お互いの強みを活かせるよう役割分担を行いながら、支援や日々の業務にあたっています。	・コミュニケーションを大切に、職員の強みを生かした支援ができるよう連携を図っていきます。 ・業務改善を進めるためのPDCAサイクルの充実。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	◆非常時の訓練やマニュアルが保護者に周知されていません。	・避難訓練や研修は行っているが、保護者への発信が少なかったです。 ・防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの説明に留まり、周知機会が不足していた。	・Instagramやおたより等を通じて、保護者の方へ取り組みを発信し周知を行っています。 ・防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認の元、年度初めに保護者へ周知していく。必要時、冊子を作成。
2	◆家族同士の交流が少ないです。	・長期休みなどに親子参加イベントなども計画しましたが、参加人数が少なかったです。	・親子で体験できる活動やイベントを企画し、交流の場を設けることを検討します。
3	◆協議会などに参加する機会が中々ないです。	・療育に関する研修などが優先になってしまい、協議会について管理者だけではなく、他職員も積極的に参加することが出来ていませんでした。	・事前に把握し、積極的に参加できるよう検討していきます。